

学習指導要領		都立瑞穂農芸高校 学カスタンダード
<p>(1) 現代世界の特色と諸課題の地理的考察</p>	<p>世界諸地域の生活・文化及び地球的課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を深めるとともに、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 地球儀や地図からとらえる現代世界 地球儀と世界地図との比較、様々な世界地図の読図などを通して、地理的技能を身に付けさせるとともに、方位や時差、日本の位置と領域、国家間の結び付きなどについてとらえさせる。</p>	<p>[位置、方位、時差]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球儀や世界地図を活用して、緯度・経度の必要性や実態を理解できる。また、方位についても知る。 時差の必要性を理解し、簡単な時差の計算ができる。 <p>[地球儀、世界地図]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球儀や世界地図を活用して、球面を平面にすることはできないことと、そのため用途に応じて様々な図法があることを知る。 <p>[日本の位置と領域]</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球儀や世界地図を活用して、わが国や主要国の位置をとらえることができる。 わが国が当面する領土をめぐる問題や経済水域の問題について理解するとともに、国境のもつ意義や領土問題が人々の生活に及ぼす影響などを理解する。 <p>[国家間の結び付き]</p> <ul style="list-style-type: none"> 国家間の結び付きや貿易について、主題図を活用して国際連合やEU、ASEAN、OPEC、WTOなど主要な組織とその役割を知る。 交通・通信や観光について、様々な交通手段や通信手段の特性を知るとともに、世界の観光の動向について知る。 <p>[自然環境と人間生活]</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の陸地が、安定陸塊、古期造山帯、新期造山帯からなることを知り、環太平洋造山帯やアルプス＝

学習指導要領	都立瑞穂農芸高校 学カスタンダード
<p>イ 世界の生活・文化の多様性</p> <p>世界諸地域の生活・文化を地理的環境や民族性と関連付けてとらえ、その多様性について理解させるとともに、異文化を理解し尊重することの重要性について考察させる。</p> <p>ウ 地球的課題の地理的考察</p> <p>環境、資源・エネルギー、人口、食料及び居住・都市問題を地球的及び地域的視野からとらえ、地球的課題は地域を越えた課題であるとともに地域によって現れ方が異なっていることを理解させ、それらの課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることについて考察させる。</p>	<p>ヒマラヤ造山帯からなる新期造山帯では地震の発生や火山活動が多く見られることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界や日本の主な地形の特色と人々の生活との関わりについて知る。 本校近くを流れている多摩川を上流から河口部まで下ることによって、流域で見られる地形の特色と人々の生活との関係性やその変遷を知る。 世界の気候について、熱帯、乾燥帯、温帯、亜寒帯(冷帯)、寒帯の分布を知るとともに各々の地域の人間の生活を知る。 <p>[宗教、民族と人間生活]</p> <ul style="list-style-type: none"> 三大世界宗教について、その分布を大観し理解するとともに、その他のいくつかの宗教を知る。また、宗教と日常生活のかかわりについて理解するとともに、世界の主な言語や民族の分布を大観し知る。 <p>[世界の諸地域の生活・文化と多様性]</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の諸地域の生活・文化について、日本の生活・文化との共通性や異質性に着目しながら、自然環境や宗教や民族とともに、農業、工業、商業などの面からその特色を知る。また、貿易や観光など日本とのつながりについて関心をもつ。 <p>[地球的課題と解決に向けた取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国を題材にして環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題、食料問題、居住・都市問題など地球的課題が数多く存在することを知る。 地球的課題は、同じ原因であっても、地域によって現れ方が異なることを知る。 地球的諸課題の解決には各国の取組や国際協力が必要であることを知る。

学習指導要領		都立瑞穂農芸高校 学カスタンダード
<p>(2) 生活圏の諸課題の地理的考察</p>	<p>生活圏の諸課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>ア 日常生活と結び付いた地図 身の回りにある様々な地図の収集や地形図の読図、目的や用途に適した地図の作成などを通して、地理的技能を身に付けさせる。</p> <p>イ 自然環境と防災 我が国の自然環境の特色と自然災害とのかわりについて理解させるとともに、国内にみられる自然災害の事例を取り上げ、地域性を踏まえた対応が大切であることなどについて考察させる。</p> <p>ウ 生活圏の地理的な諸課題と地域調査 生活圏の地理的な諸課題を地域調査やその結果の地図化などによってとらえ、その解決に向けた取組などについて探究する活動を通して、日常生活と結び付いた地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けさせる。</p>	<p>[身の回りにある地図の収集と地形図の読図]</p> <ul style="list-style-type: none"> 市街図、鉄道地図、観光案内図などの身の回りにある様々な地図を知るとともにその活用術を会得する。 地形図は地表の様子を描くために等高線と地図記号を用いていることを知る。 <p>[主題図の作成]</p> <ul style="list-style-type: none"> 自宅から中学校までの地図などの簡易な地図を描くことができる。その際に、縮尺や地図記号などについても考え方や由来を知る。 <p>[わが国の自然環境の特色と自然災害]</p> <ul style="list-style-type: none"> わが国の自然環境の特色を理解し、過去に多くの自然災害が発生してきたことを知る。 <p>[自然災害と防災]</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活圏の自然環境と過去に発生した自然災害について知るとともに、今後想定される自然災害の危険予測についてハザードマップが用意されていることを知る。

学習指導要領	都立瑞穂農芸高校 学カスタンダード

教科：地 理 科目：地 理 A

作成様式